



開二小だより

Vol. 246 第2号
令和5年5月1日発行
練馬区立開進第二小学校
校長 椿田 克之
www.kaishin2-e.nerima-ky.ed.jp

子供たちの豊かな心を育むために

副校長 世良 泉

新しい学年が始まり、1か月が過ぎようとしています。子供たちは、どの子も緊張が和らいで、明るい笑顔が見られ、校内でも気持ちの良い挨拶が聞こえてきます。

今年度、私も練馬区に赴任し、1年生と同様に5月になって開二小の学校生活に慣れてきたように思います。聞いていた通り、子供たちは素直で明るく、一所懸命に学習活動に取り組んでいます。これはひとえに、個々の良さを伸ばす環境があるからだと感じています。

保護者の方々と毎日のように言葉を交わす中で、いつも子供たちを温かく見守っていただいていることが大変よく伝わってきます。また、地域の方々の様々な場面での手厚い協力があって、子供たちが伸び伸びとすくすくと育っているのだと実感しました。学校の全職員も子供たちの個を大切に、意欲的に学習活動に取り組めるよう、チームとなって日々の教育活動に取り組んでいます。

学校の教育力、家庭の教育力、地域の教育力。どの力も子供たちの豊かな心を育むエネルギーとなって、どの子も安心安全の中で大きく育っていくと考えています。この開二小に通う子供たちは、豊かな心を育む環境がすべて揃っていると、この1か月で強く感じました。

感染症対策によって、子供たちにとって必要な体験や学習活動に大幅な制限がありました。5月8日からは今までの取り組みを踏まえた新しい形の教育活動や子供中心の催しになると考えています。学校行事では、全校児童が揃った5月の運動発表会や方法を工夫した11月の学習発表会を計画しています。PTAが主催のイベントや地域の方々による子供向けの催し物等々、これまで経験することができなかった人と触れ合いや交流する行事やイベントが、学校、家庭、地域に戻ってくると思われます。子供たちも新しい体験にきっと大喜びです。

子供たちの個々の良さを伸ばし、豊かな心を育むために、これからも、学校、家庭、地域が協力していかれるように、しっかりと繋いでいきたいと思っております。ご理解、ご協力をお願いいたします。

【体育学習における水泳の水着について】

昨年度は感染症対策で回数が少ない水泳指導のため、ご家庭にある水着の使用をお願いしました。今年度以降、紫外線対策などによって水着の形態が多様化していることから次の3点にご理解をいただき、水着のご準備をお願いいたします。

- 水着やラッシュガードは華美を避け、動きやすく、乾きやすいものにする。
- 裏面を含め水着やラッシュガードのどこかに必ず記名をする。
- 水泳帽子は指定された形や色で、正面に大きく記名をする。